

81 砂防関係施設の長寿命化対策

アンカー改築の事例（糸魚川市 玉ノ木地区地すべり防止区域）



S61
全国初、地すべり
対策にグラウンド
アンカー工を採用
し、復旧完了

グラウンドアンカー工

老朽化



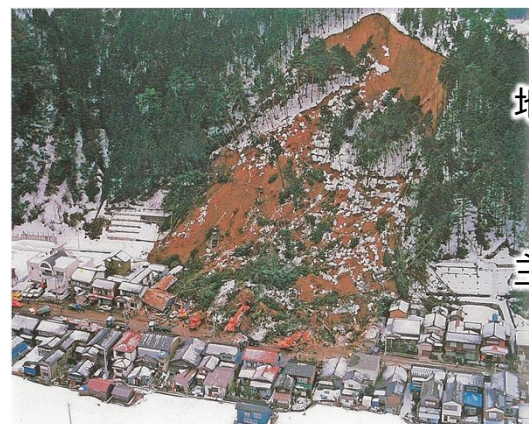
対策後

国道8号

あいの風とやま鉄道



グラウンドアンカー工
(更新)



S60.2
地すべり発生
幅70m
長さ110m
移動土砂4万m³
主な被害
死傷者14名
住家7戸(全半壊)
国道埋塞

対策前



H30
アンカー鋼材の発錆等
老朽化に伴う機能低下
を確認
改築に着手



玉ノ木地区
(糸魚川市市振地内)

○対策の効果

- 昭和60年2月、豪雪と急激な気温上昇に伴う融雪を誘因とした地すべり災害が発生し、全国の先駆けとなる大規模なグラウンドアンカー工による復旧を行いました
- 施工後30年以上経過し、老朽化により機能が低下したグラウンドアンカー工を更新し、地すべり抑止機能の回復を図りました
- 地すべりから、人家17戸・国道8号(第1次緊急輸送路)・鉄道(あいの風とやま鉄道(旧JR北陸本線))・玉ノ木支館(指定緊急避難場所)を保全し、地域の安全・安心を再度確保しました